

兵庫県立長田高校「神撫100周年記念会館」

長田高等学校が2020年に創立100周年を迎えることを期に、在校生、卒業生相互のつながりを創る場として、また創立以来100年という長い伝統に触れられる場として建設された同窓会館です。

卒業生等の寄付金により同窓会組織により建物は建設され、竣工後は兵庫県へ寄附されました。

当初は鉄骨造で計画されましたが、建設費の高騰の煽りを受け、予算を合わせるために木造に変更されました。

また、コロナ禍において創設された林野庁の「過剰木材在庫利用緊急対策事業」による助成金を受けられたことで、内装仕上材についても積極的に木材を利用することができました。

既存のRC校舎とは雰囲気が違った切妻屋根の一軒家のような趣を持った木造空間の中に收藏品や過去の学校活動を記した写真等が散在したクラブハウスです。

ここに集う人々が長田高校の文化や伝統を自然に感じ取りながら学び、交わり、そこから生み出される新しい記憶がさらに蓄積されていく建物になるよう計画しています。

○建物概要

竣工年月日：2021年3月23日

構造・階数：木造・2階建

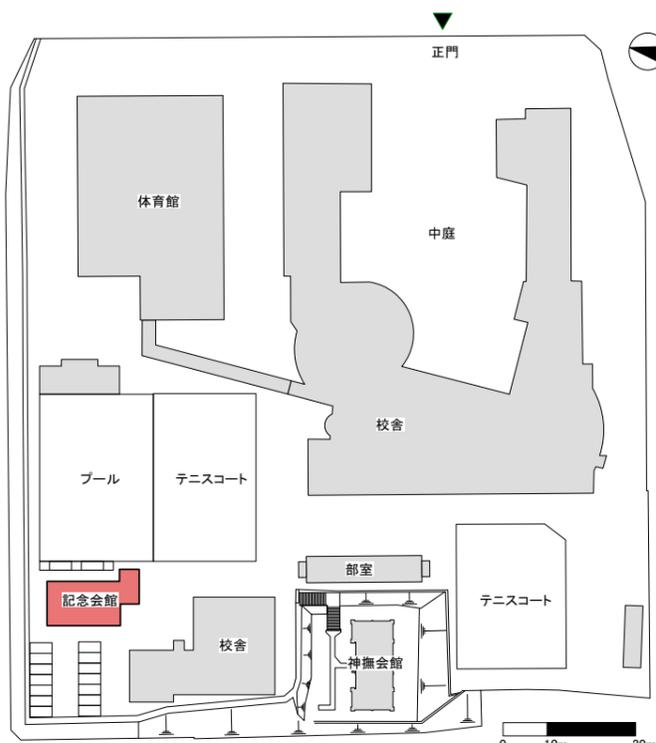
建築面積：210.57㎡ 延床面積：392.9㎡



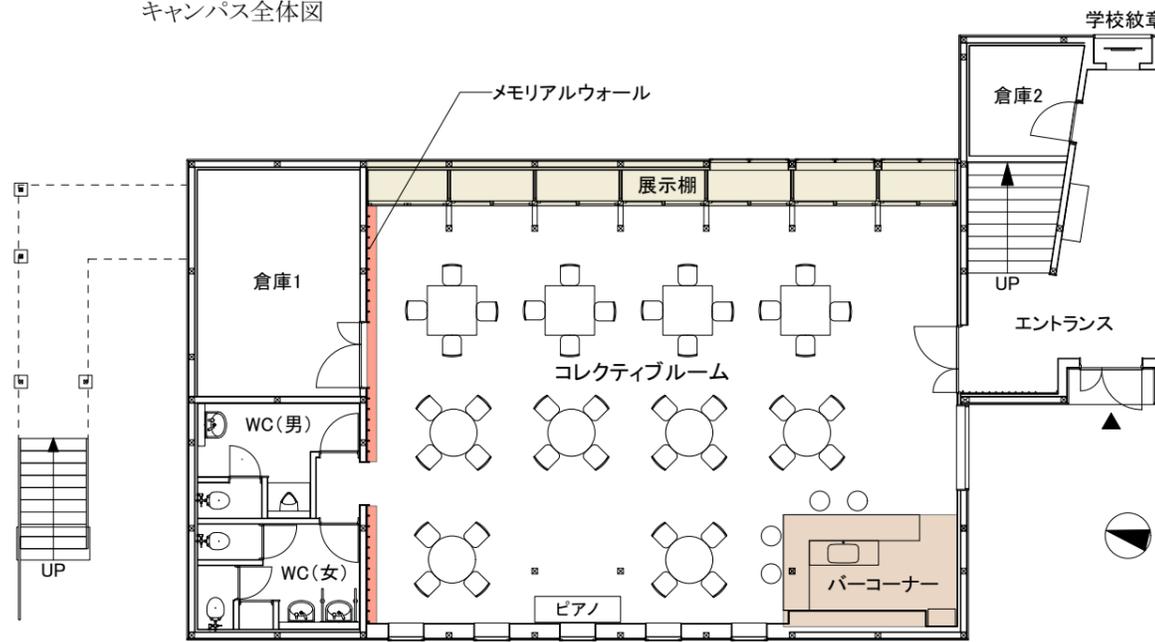
構造木柱から梁を架け渡した軸組をベースに展示棚を構成することで、学校の様々な歴史的な事物を収蔵するための、力強く素朴な質感のデザインを目指しています。



「Bar NAGATA」をイメージしたスペースにはナラの無垢板カウンターを設置し、背面壁には昭和初期の寄贈時計や大正時代の教室などの写真を掲示しています。シンクと冷蔵庫も設置しているので、パーティー時にはクラブハウスのバーのような利用を行うことが可能です。



キャンパス全体図



1階 平面図 S=1/150

柱は兵庫県産のスギ、梁には広島県産のベイマツを使用しています。



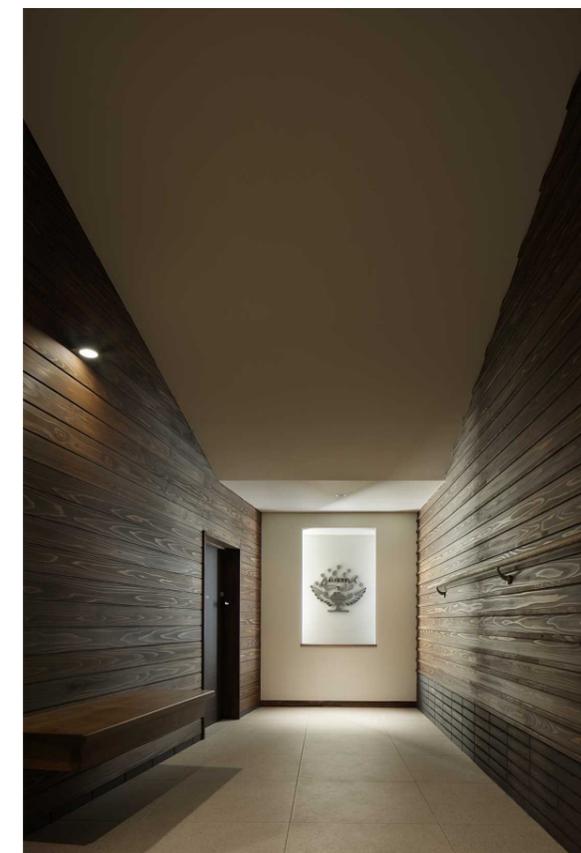
○コレクティブルーム

1階は收藏品や画像、テキスト記録、卒業生や在学生、教員といったモノ、アーカイブ、ヒトが離散集合するスペースであることから「コレクティブルーム」と名づけられています。

天井は空調換気設備の配置を集約することでベイマツの床梁の一部を現わしにしています。スギの柱に梁を架け渡した軸組を利用して建築と一体的なデザインの展示棚としています。このように構造材の一部を内装仕上げ材として利用することでコストを抑えると共に、木質感があり力強く経年劣化が味わいになっていくラウンジ空間としています。



元々は駐車場として使われていた、キャンパス最奥部のひっそりとしたスペースが建設地です。白いRC造の既存校舎群の中で卒業生や在学生のための集いの場として、小さいながらも象徴性を表すために、外壁はリブ付黒色の金属製、屋根はシンプルな切妻形状にしています。

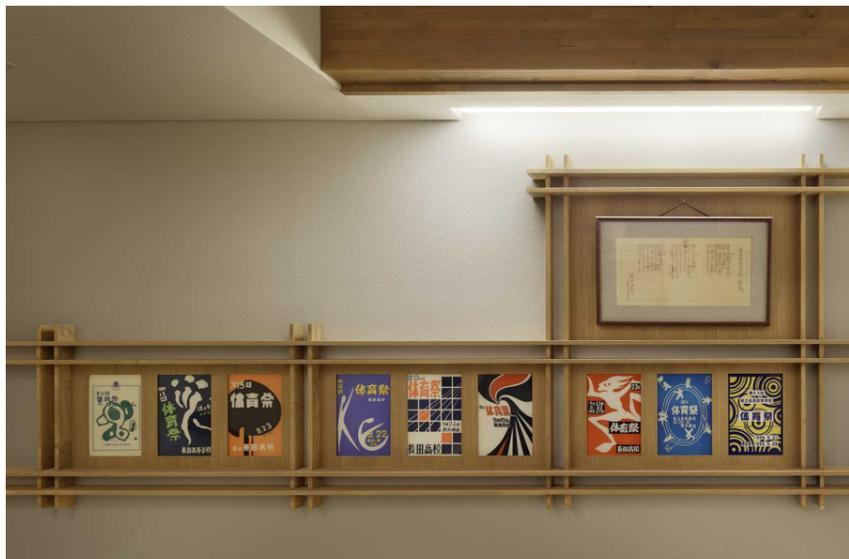


エントランスには戦前の卒業アルバムに使用されていた「星と学灯」をモチーフにした紋章を設置しています。来館者が落ち着いた気持ちで学校の歴史や講演会などへ臨んでもらうために、天井が低く、自然光を利用した少し薄暗い「蔵」のような雰囲気を持ったエントランス空間にしています。

兵庫県立長田高校「神撫100周年記念会館」



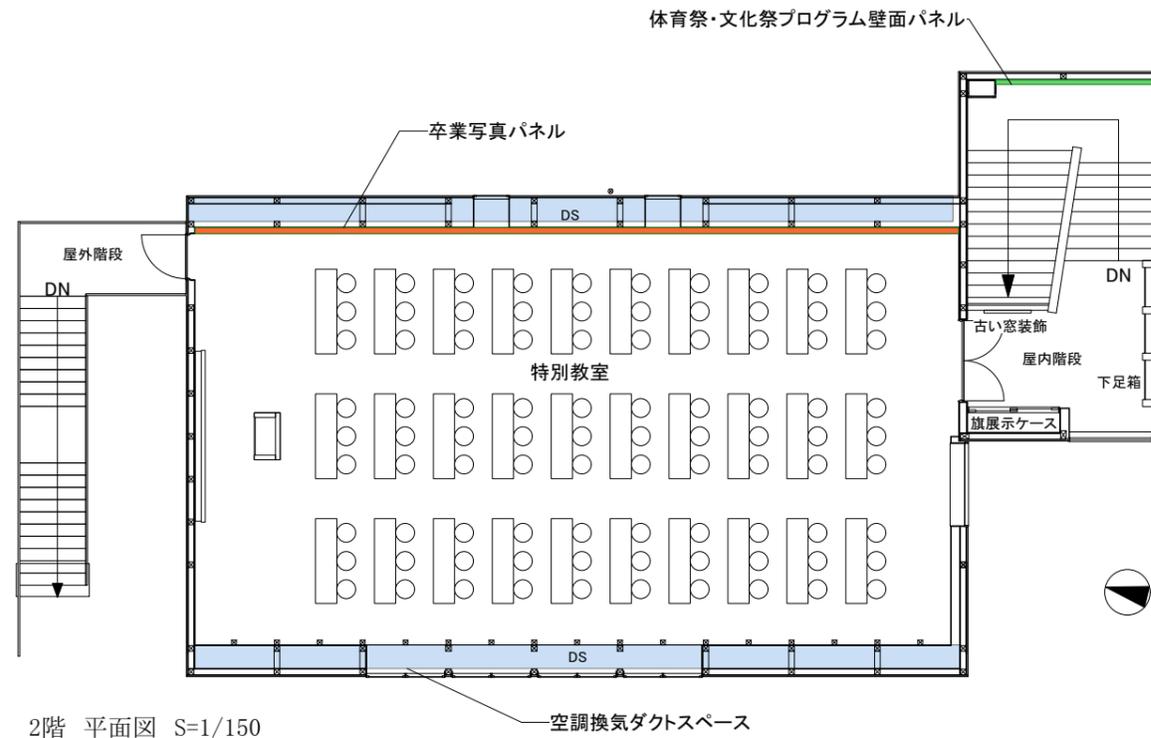
特別教室壁面には1926年以降の卒業アルバムの中から年度毎に抜粋編集した写真をアクリルパネル化し、壁面展示しています。2050年までの写真展示スペース分を確保しています。



過去の在学生在が作成した文化祭と体育祭のプログラムをアクリル板に転写し、木製パネルに嵌め込んで階段踊場の壁面装飾としています。



2階特別教室全景



2階 平面図 S=1/150

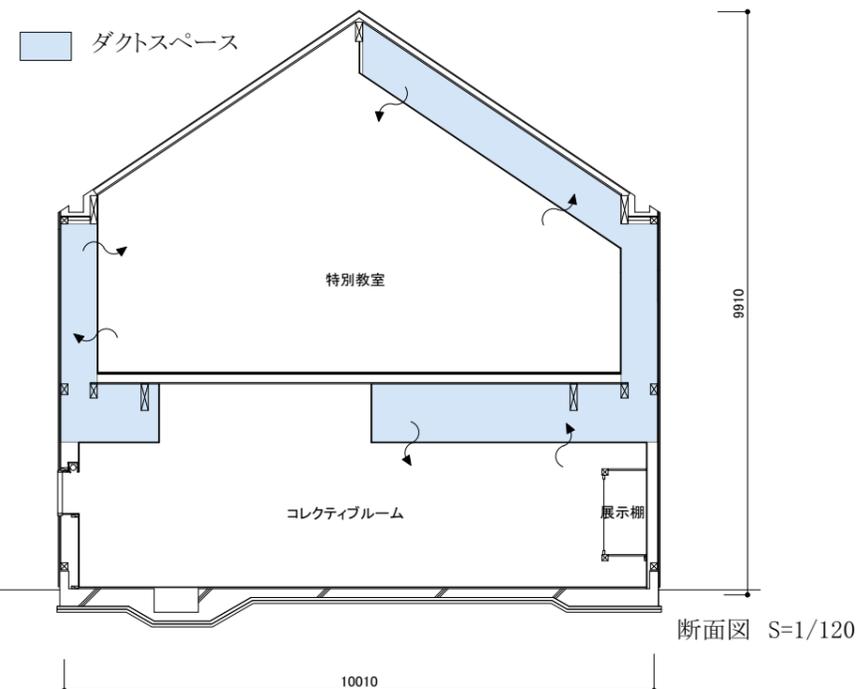
○特別教室

2階は授業、講演、会議、展示会などフレキシブルに利用できる特別教室(90席)です。

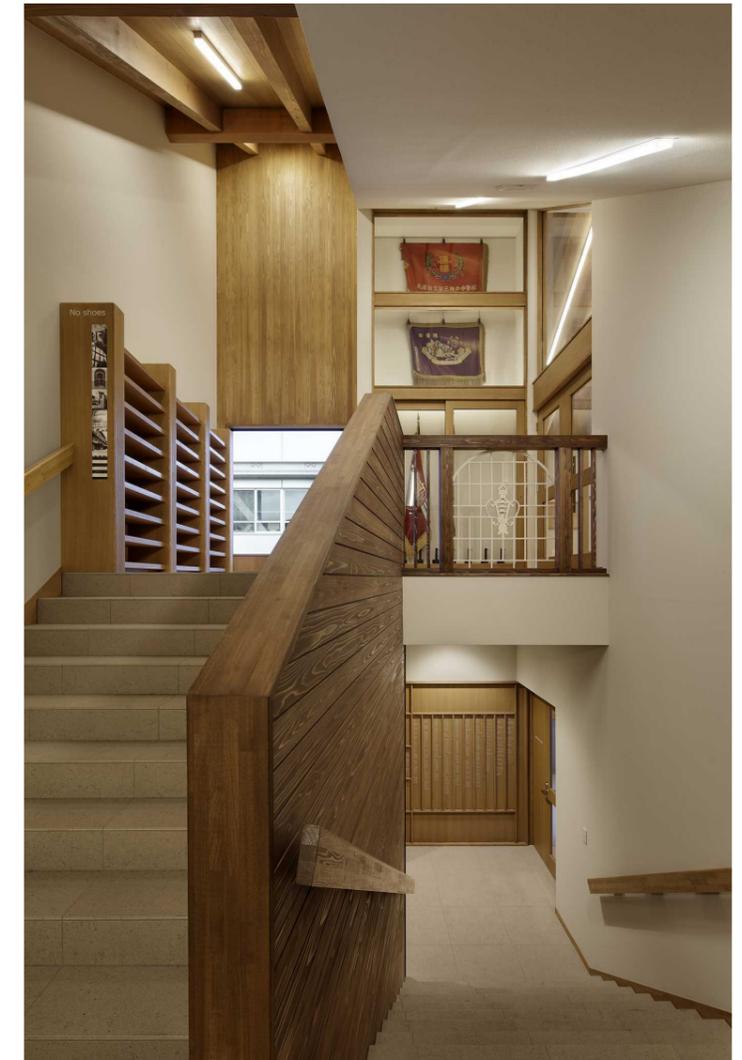
1階の倉庫・トイレの天井内に設置されたエアコン本体からのダクトスペースを、建物の東西面に回廊部分として確保しています。こうすることで2階天井の半分において木梁現わしにすることが可能になり、左右非対称のデザインになり印象的な教室空間としています。

また両壁面を回廊化することで屋根の梁スパンが短くなり、梁背を抑えることが可能となり天井高が高くなると共に材積を減らすことで工事費のローコスト化に寄与しています。

天井の木梁間には多孔質な杉板貼にすることで内装の木質感を高めると同時に幅広い音域における吸音効果の向上を図っています。



断面図 S=1/120



階段手摺の一部には解体された校舎の窓の装飾鉄具を使用しています。下足箱の側面には歴代校舎の写真を嵌め込み、踊り場には過去の優勝旗の展示ケースを配置するなど、利用者の動線上において学校の記憶が自然と目に入るように配慮しています。



南側外観